

令和5年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立清新第二中学校

校長名 白石 亨

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	1 豊かな心で、互いに敬愛できる人(敬愛)	2 進んで学び、深く考える人(知性)
	3 健康で明るく、自らを鍛える人(健康)	4 責任を重んじ、勤労を尊ぶ人(責任)
	5 礼儀を重んじ、他とよい関係を築く人(礼節)	

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。  
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。  
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 体験的な活動を通して、自己の生き方を考える。
  - 調べ、体験し、まとめる活動 仮説を立て、それを確かめる学習
  - 教科学習で身に付けた知識や技能の活用と探求
- 豊かに生きるための基礎・基本を身に付け、活用する。
  - 健康・安全に関する学習
  - 読書活動
- 地域社会の一員としての生き方を知る。

育てようとする資質や能力及び態度

知識・技能		
第1学年	第2学年	第3学年
手段を選択し、資料を集める。集めた資料をわかりやすくまとめ発表する。	課題をもち、必要な資料を収集する。また、それをまとめ、発表する。	課題を吟味し、目的に合った資料を収集する。また、分析し、わかりやすく発表する。
思考・判断・表現		
第1学年	第2学年	第3学年
自己を知り、よりよく生きる態度を育てる。	自己を知り、自己を伸ばす方法を考える。	将来を展望し、よりよく生きる方策を知る。
主体的に学習に取り組む態度		
第1学年	第2学年	第3学年
目他の安全に気を配り、よい集団、環境作りを目指す姿勢を育てる。	異なる意見や考え方を受け入れ、尊重する態度を育てる。	相反する意見や考え方から、仲間と協同して解決する姿勢を育てる。
江戸川再発見に関すること		
第1学年	第2学年	第3学年
地域社会の成り立ちを知り、自己とのかかわりを知る。	地域社会の一員としての意識をもち、地域の活動に進んで参加する。	協働、参画の中で地域社会を担う意識をもち、自己実現を目指す。

内容	学習対象	学習事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己と家族</li> <li>○ キャリア教育</li> <li>○ 健康教育</li> <li>○ 本から学ぶ(読書科・読書活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分史作成</li> <li>・5年後の自分、10年後の自分</li> <li>・心身の健康</li> <li>・読書を通じた交流</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農業と自然</li> <li>○ キャリア教育</li> <li>○ 健康教育</li> <li>○ 本から学ぶ(読書科・読書活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然、お国柄</li> <li>・職業と望ましい勤労観</li> <li>・健康な生活</li> <li>・表現力を高める読書</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の伝統・文化</li> <li>○ キャリア教育</li> <li>○ 健康教育</li> <li>○ 本から学ぶ(読書科・読書活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土愛、世界と日本</li> <li>・自己実現に向けた学習活動</li> <li>・望ましい環境づくり</li> <li>・感性を育てる読書</li> </ul>

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとにテーマを決め、個人やグループで探求的な活動、問題解決型学習を行う。</li> <li>・学期に一度程度の発表を行い、相互評価、自己評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に合ったテーマの設定</li> <li>・体験から学ぶ学習の提示</li> <li>・個に応じた指導の工夫</li> <li>・目的に合った発表方法の提示</li> <li>・多様な学習形態の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な学習環境の提供</li> <li>・学年、学級の枠を越えた指導体制の確立</li> <li>・地域教育力の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導目標の設定とその達成の評価</li> <li>・評価規準と評価の観点の提示</li> <li>・個人内評価の充実</li> </ul>